

第1回企画等専門調査会(平成23年11月21日)資料  
 「<平成23年度>食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補について(案)」抜粋

評価課題／危害要因	危害要因に関する概要等	国内外における評価状況、管理状況等
レスベラトロール	<p>・独立行政法人国立健康・栄養研究所:「健康食品」の安全性・有効性情報  <a href="http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail1715lite.html">http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail1715lite.html</a>                      主に赤ワイン、赤ブドウの果皮、ぶどうジュース等に含まれるポリフェノールの一種。俗に「寿命を延長する」、「抗酸化作用がある」、「抗炎症作用がある」と言われているが、ヒトでの有効性については調べた文献に十分なデータが見当たらない。                      サプリメントなどの濃縮物として摂取した場合の安全性についても調べた文献に十分な情報が見当たらない。                      エストロゲン様作用があるため、ホルモン感受性疾患がある場合は使用を避ける。</p>	<p>〈国内〉                      ・食品安全委員会による評価状況:なし。                      ・厚生労働省:「健康食品」の安全性・有効性データベースについて平成16(2004)年7月14日食安新発第0714001号                      「健康食品」については、国民の健康に対する関心が高まるとともに、健康と食に関する情報が氾濫するようになり、中には、過剰摂取や過度の痩身行為などの偏った食生活を導く不適正な情報あるいは非科学的な情報も増え、国民の混乱を招いているとの指摘が少なくありません。                      こうした状況を改善するため、本年6月9日にまとめられた「健康食品」に係る今後の制度のあり方に関する検討会」の提言においても、普及啓発として「健康食品」の有効性・安全性について中立的な情報提供を行うデータベース等を活用すべきである」とされています。                      今般、その「健康食品」の安全性・有効性データベースが独立行政法人国立健康・栄養研究所のホームページに開設されました。                      ・独立行政法人国立健康・栄養研究所:ホームページ「健康食品」の安全性・有効性情報  <a href="http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail1715lite.html">http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail1715lite.html</a>                      〈海外〉                      ・フランス食品衛生安全庁(AFSSA)                      ポリフェノールについては、医者の処方以外にサプリメントで推奨量のポリフェノールを摂取することにはリスクがないわけではない。さまざまな臨床試験によって、高用量のポリフェノール摂取が非ヘム鉄の吸収を大きく阻害する作用があることが明らかになっている。鉄の吸収量がこうして減少することは、肉を食べない貧血症の人(出産適齢期にあるフランス人女性の3~4%)にとっては現実的な問題であり、ポリフェノールを豊富に含む製品の定期的摂取が鉄の吸収に影響を及ぼすリスクを見積もり、便益と合わせて考える必要がある。(2005年12月14日)  <a href="http://www.afssa.fr/Ftp/Afssa/33062-33063.pdf">http://www.afssa.fr/Ftp/Afssa/33062-33063.pdf</a></p>